

会 期◎平成二十九年（二〇一七）十月十四日（土）～十一月二十六日（日）

主 催◎高知県、高知県立歴史民俗資料館（公益財団法人 高知県文化財団）

特別協力◎臨済宗黄檗宗連合各派合議所、臨済宗妙心寺派、臨済宗妙心寺派四国西教区、

臨済宗妙心寺派四国東教区、臨済宗妙心寺派四国西教区第十部

後 援◎公益財団法人禅文化研究所、高知県教育委員会、越知町教育委員会、津野

町教育委員会、高知新聞社、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、読売

新聞高知支局、産経新聞社高知支局、日本経済新聞社高知支局、共同通信

社高知支局、時事通信社高知支局、NHK高知放送局、RKC高知放送、

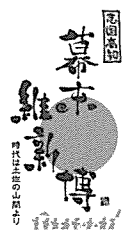
KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、KCB高知ケーブルテレビ、

エフエム高知

★平成二十九年第六十七回

高知県芸術祭共催行事

▲芸術文化振興基金助成事業



ごあいさつ

鎌倉時代に日本へ伝播した禅宗は、武家だけでなく天皇家からも帰依を受け、政治や日本文化に大きな影響を与えました。さらに江戸時代には、臨済宗中興の祖である白隠慧鶴はくいんえかくの登場によって、民衆にも広がっていきました。そして近年、禅の思想は宗教的な枠組みを越え、生きるためのヒントとしても注目されています。

本県は、中世から近世にかけて、臨済宗寺院で活躍した高僧たちを輩出しました。特に、南北朝時代から室町時代に活躍した義堂周信ぎどうしゅうしんと絶海中津ぜっかいちゅうしんは、「五山文学の双璧」と称されるほどです。しかし、これまで本県では、禅宗文化を重点的に紹介する機会がほとんどありませんでした。

本展では、平成二十九年が臨済宗中興の祖である白隠慧鶴はくいんえかくの二五〇年遠諱おんきの節目の年にあたることを記念して、京都の臨済宗各派本山及び四国内の臨済宗各寺院の全面的な協力のもと、高知では初公開となる国宝・重要文化財を含む約百点もの珠玉の名宝を集め、禅宗文化を紹介します。その際、これまでの禅をテーマにした展覧会の多くが、禅宗文化が花開いた室町期を中心にして語られているのに対し、「志国土佐 幕末維新博」の期間中に開催する本展では、維新期の苦難からの復興という今まで取り上げられることのなかった側面に光を当ててみました。また、禅宗文化の発展に尽力した土佐の先達の功績も郷里で顕彰することとしています。

このように、貴重な作品が一堂に会し新たな視点を加えた本展が、皆様にとって禅の奥深い世界への発見と感動へとつながる機会となることを期待しています。

最後になりましたが、本展開催にあたり、貴重な文化財をご出品いただきました所蔵者各位、ご協力を賜りました関係各位に心よりお礼申し上げます。

平成二十九年十月

主催者

目次

ごあいさつ

白隠 人と作品 芳澤勝弘

日本禅宗の歴史 — 伝来と展開の諸相 — 中尾良信

図版

第一章 禅の誕生から日本における受容まで

第二章 維新を越えて

第三章 土佐が生んだ高僧

第四章 土佐に伝わる寺宝

特別展示 宗安寺 不動明王坐像及び両脇侍

作品解説

主な参考文献

関連法系図

出品目録

6

15

27

91

103

119

140

144

164

165

166